

# 東京大学 × 日本証券業協会

カーボンニュートラル実現のため、気候変動問題と経済・社会的課題の同時解決を目指す経済的手法として、温室効果ガス費用を可視化する点について注目を集めるカーボンプライシング。市場機能を通じた価格シグナル形成について、クレジット取引、排出量取引や金融商品等といった様々な観点から、市場機能の可能性、果たすべき役割等を探求する機会としたい。

SDGSシンポジウム

# カーボンプライシングと 市場機能の可能性探求

2022.1/20 THU  
18:00-

東京大学構内 伊藤謝恩ホール 又は オンライン  
文京区本郷7-3-1 伊藤国際学術研究センター 地下二階 (会場定員100名)

プログラム

シンポジウム時間:90分

17:30 開場・受付開始

18:00 主催者開会挨拶

東京大学 執行役・副学長 社会連携本部長  
津田 敦 氏



18:10 基調講演

カーボンプライシングとは  
東京大学 公共政策大学院 院長  
大学院経済学研究科 教授  
大橋 弘 氏



18:30 パネルディスカッション

カーボンプライシングにおける市場機能の  
可能性と役割の探求

モデレーター

東京大学 大学院経済学研究科 教授 柳川 範之 氏



パネリスト

元木 悠子 氏  
・みずほリサーチ & テクノロジーズ 環境エネルギー第1部  
地球環境チーム 課長 元木 悠子 氏  
・経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長 梶川 文博 氏  
・ソシエテ・ジェネラル証券 代表取締役社長 島本 幸治 氏



19:15 質疑応答

モデレーター、パネリストに対する質疑応答

19:30 終了

参加登録(無料)  
はこちら



主催



<https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/Forms/sharen0120sympo/>

※予告なく記載内容は変更される場合があります。

※開場参加登録者が定員(100名)に達した場合、オンラインによる参加をお願いする場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンラインのみの開催とする場合もあります。